第 35 回
日本家族社会学会大会
プログラム

2025 年 9 月 6 日（土）・7 日（日）

開催校・会場：金城学院大学

大会日程

会場：金城学院大学

▼第１日　2025 年 9 月 6 日（土）　受付開始 9:15～　E1 棟 1 階エントランスホール

10:00～12:40	**自由報告(1)** ① 親子関係・家族関係 ② ジェンダー ③ 子育て・ネットワーク ④ 出生・生殖 **テーマセッション（1）** 家族実践論の再考	 E1-205 E1-206 E1-207 E1-208 E1-209
12:40～14:00	**昼食・委員会・交流スペース（無料:13:10～13:50）**	**交流スペース** **E1 3 階 ラウンジ**
14:00～16:40	**自由報告（2）** ⑤ 制度・支援 ⑥ 男性 ⑦ 中国の家族・ケア ⑧ ライフコース ⑨ 家事 **テーマセッション（2）** 日本におけるリプロダクションへの歴史社会学的アプローチ―産婆・巡回指導婦・助産録	 E1-205 E1-206 E1-207 E1-208 E1-209 E1-210
16:50～17:50	**総会**	E1-104
18:10～19:10	**交流会**	**学生食堂リリーノース** **N1 棟 1 階**

▼第２日　2024 年 9 月 7 日（日）　受付開始 9:15～　E1 棟 1 階エントランスホール

10:00～12:40	**自由報告（3）** ⑩ 結婚 ⑪ 仕事 ⑫ カップル・性 **テーマセッション（3）** 家族を対象とした社会調査デザインの新たなアプローチ **開催校企画テーマセッション** ジェンダー・セクシュアリティ・近代家族のいまと未来 ――政治学者・人類学者・社会学者による批判的協働	 E1-205 E1-206 E1-207 E1-208 E1-209
12:40～14:00	**昼食・委員会**	
14:00～16:30	**シンポジウム**：家族の「多様化」を再考する――30 年の歩みと新時代の家族社会学の想像力	E1-104

※ 総会終了後に、交流会（有料、軽食・ソフトドリンク）を開催します。
（大会参加の事前Web登録時に参加の有無を選択してください）

大会プログラム

第１日目　９月６日（土）

受付時間	**9:15～**
午前の部	**10:00～12:40**

自由報告(1)

①親子関係・家族関係（E1-205）　　**司会　菊地　真理（大阪産業大学）**

①－1　トランスナショナルな親子関係におけるケア実践の多様性と葛藤
——ロンドン在住日本人女性の事例から　　髙橋　薫（昭和女子大学）

①－2　ステップファミリーにおける継／養子の非同居実親
——継／養親の非同居実親に対する意識　　久保原　大（東京都立大学）

①－3　メリーランドへの初期入植者と「家族」
——アーク号とダブ号の乗船者記録からの検証　　安藤　喜代美（名古屋大学・院）

①－4　TikTok における希少疾患児の母親の自己呈示と〈苦しみの訴え〉
——生 - 権力とポスト社会主義的語りの視座から　　宦　暢（九州大学人間環境学府・院）

①－5　中年期における世代間の援助交換に関する日韓比較研究　　韓　仁熙（東京大学・院）

②ジェンダー（E1-206）　　**司会　須長　史生（昭和医科大学）**

②－1　中国都市部の回族親子から見る家庭内の権威・権力関係
——西安回族を事例に　　王　韻寒（中央大学・院）

②－2　家族観やジェンダー観に関するアンコンシャス・バイアスと地方都市からの人口流出
——函館市を対象としたケーススタディ　　丸山　洋平（札幌市立大学）

②－3　夫婦世帯における世帯内資源配分に見るジェンダー秩序の再構築
——1995-2021 年パネルデータ重回帰分析による検証　　江　博聞（京都大学・院）

②－4　選択的シングルマザーの視点から捉える現代日本女性のライフスタイルとジェンダー意識　　周　馨驥（神戸大学・院）

②－5　養育費を求めた非婚シングルマザーの経験に関するケース・スタディ
——『認知』を提起する影響についての一考察　　富田　陽子（お茶の水女子大学・院）

③子育て・ネットワーク（E1-207）　　**司会　野沢　慎司（明治学院大学）**

③－1　ライフイベントに伴うパーソナルネットワークと向社会的行動の変化　　荒牧　草平（大阪大学）

③－2　育児情報源と育児情報獲得状況に関する研究　　平松　紀代子（滋賀大学）

③－3　母親の教育志向における地域性とネットワークの影響　　小西　凌（三重大学）

③－4　ひとり親世帯の子どもの成績の低さの検証
——親の子どもへの関わりの指標の差異に着目して　　建部　知則（学習院大学・院）

③－5　家庭における教育虐待の構造的要因の検討　　森田　友華（株式会社メタフォー（武田塾））
——行為者のライフヒストリーを通して

④出生・生殖（E1-208）　　**司会　守泉　理恵（国立社会保障・人口問題研究所）**

④－1　ドイツの出生動向と家族の変化　　原　俊彦（日本医療大学）
——家族の多様化と復活の可能性

④－2　夫婦出生力の長期的趨勢　　○余田　翔平（東京大学）
——期間合計結婚出生率によるアプローチ　　岩澤　美帆（国立社会保障・人口問題研究所）

④－3　若年未婚者の出生意欲の規定要因　　根本　千裕（京都大学・院）

④－4　ひのえうま出生減の歴史人口学的考察　　吉川　徹（大阪大学）

④－5　胎児の父親の同意は必要か　　菅野　摂子（東京科学大学）
——母体保護法の「配偶者同意」への産婦人科医の眼差し

テーマセッション(1)（E1-209）

家族実践論の再考

オーガナイザー　三品　拓人（筑波大学）
司会　岡田　玖美子（奈良女子大学）
討論者　戸江　哲理（神戸女学院大学）
松木　洋人（早稲田大学）

1　ケアと虐待の境界域における虐待行為への自制的対応　　戸井田　晴美（一橋大学・院）
——家族ハビトゥスという視点から

2　葬送・先祖祭祀における嫁の家族実践　　森　恭子（同志社大学・院）
——奈良県旧都祁村地域を事例に

3　独身者のパートナーシップと家族実践　　栗村 亜寿香（関西大学）
——中年期のLAT（Living Apart Together）に着目して

4　子の「受け容れ」をめぐる家族実践　　勝又　栄政（立命館大学・院）
——トランスジェンダー男性の子をもつ夫婦の事例を通して

昼食・委員会・交流スペース　　12:40～14:00

午後の部 **14:00～16:40**

自由報告(2)

⑤制度・支援（E1-205） **司会　土屋　敦（関西大学）**

⑤－1　入院患者のケアにおける日中比較からみる「脱家族化」の進捗　游　天舒（北海道大学・院）

⑤－2　こども家庭庁の「エビデンス」理解——「科学的知見の充実・普及に向けた調査研究」の研究　田中　重人（東北大学）

⑤－3　オーストラリアにおける自発的幇助自死法の進展と課題　南　貴子（香川県立保健医療大学）

⑤－4　知的障害者支援における「距離感」の再定義——包括的セクシュアリティ教育に基づく関係性生成と応答的ケアの視点から　松本　和剛（日本福祉大学・院）

⑤－5　日本のケアラー支援をめぐる課題——ケアラー支援条例をめぐる動向を中心にとして　斎藤　真緒（立命館大学）

⑥男性（E1-206） **司会　巽　真理子（大阪公立大学）**

⑥－1　「おやじの会」は相互ケアの関係を育む場となりうるか——家庭・地域・世代をつなぐ実践の可能性　清水　憲志（中国短期大学）

⑥－2　〈葛藤的男性〉とはどのような男性なのか——ケアをめぐる男性の行為と意識の錯綜　○多賀　太（関西大学）　石井　クンツ昌子（お茶の水女子大学）　伊藤　公雄（京都大学・大阪大学名誉教授）

⑥－3　父親たちのケアをめぐる新たな役割と家族・社会との関係の再編に関する研究　松村　智史（名古屋市立大学）

⑥－4　父親の子育てにおける性別役割分業観の多元性——育休取得男性の語りから　岩城　はるみ（関西大学・院）

⑥－5　シングルファーザーの家族生活と仕事生活の葛藤に関する質的分析——構造とエージェンシーによる検討　小野江　優介（日本福祉大学）

⑦中国の家族・ケア（E1-207） **司会　叶　尤奇（神田外語大学）**

⑦－1　現代中国におけるケアチェーンの形成による母親役割の代行と再編——両端に位置する女性たちの育児分担をめぐるミクロな交渉から　厳　俊（京都大学・院）

⑦－2　中国の一人娘世代と母親世代のライフコースの比較研究①——計画経済期における二元的な戸籍体制が都市女性と農村女性に与えた影響　陳　予茜（流通経済大学）

⑦－3　中国の一人娘世代と母親世代のライフコースの比較研究②——婚後・子育て期の居住形態と育児のあり方について　施　利平（明治大学）

⑦－4　女性農民工の母親役割に関する意識と行動——中国四川省留守児童をめぐる遠隔養育を軸に　張　迎霞（神戸大学・院）

⑦－5　中国における SRS 手術を受けたトランス女性の親子関係　呉　亦悦（北海道大学・院）

——「受け容れ」をめぐる葛藤

⑧ライフコース（E1-208） **司会　嶋﨑　尚子（早稲田大学）**

⑧－1　女性のライフコースの世代間比較　黒川　すみれ（福岡県立大学）
——系列分析による職業経歴の記述

⑧－2　ライフコースの視点からみた外国人大学教員のキャリア形成　渡邉　恵（広島大学）

⑧－3　農村部出身者みる「家を継ぐこと」の意味づけ　水嶋　陽子（常磐大学）

⑧－4　移民第二世代女性の進路決定をめぐる家庭内での相互作用　河村　優花（日本女子大学・院）
——家父長制と経済秩序の交差に注目して

⑧－5　誰に孫がいて、誰が孫育てをしているのか　○筒井　淳也（立命館大学）
——「中高年期の家族生活についての全国調査（NFRJ-S23）」の結果から　菊澤　佐江子（法政大学）　安元　佐織（大阪大学）　李　雯雯（立教大学）

⑨家事（E1-209） **司会　中川　まり（大妻女子大学）**

⑨－1　中国男性の家事参加の実態と意識　孫　海翔（神戸大学・院）
——重慶在住の既婚男性を例にして

⑨－2　誰が家事関連機器を利用するのか？　柳下　実（佛教大学）
——全国家庭動向調査（2008，2018）の分析

⑨－3　家事におけるステータス信念　張　益民（埼玉大学）
——配偶者間の相対的収入と雇用形態、およびジェンダー不平等

⑨－4　夫の家事労働に対する異質的な影響　鈴木　健一郎（名古屋大学・院）
——無条件分位点回帰による検討

⑨－5　親は子どもの家事をどのように評価しているのか　○戸髙　南帆（東京大学・院）
——おこづかいと褒めに関するサーベイ実験を用いた検討　尾藤　央延（東京都立大学）

テーマセッション(2)（E1-210）

日本におけるリプロダクションへの歴史社会学的アプローチ——産婆・巡回指導婦・助産録

オーガナイザー・司会　田間　泰子（大阪公立大学）
討論者　伏見　裕子（近畿大学）
宝月　理恵（お茶の水女子大学）

1　大正・昭和期の助産録に見るリプロダクションの変遷　松岡　悦子（奈良女子大学）

2　戦時下のリプロダクション政策とその実践　大出　春江（大妻女子大学）
——巡回指導婦制度を中心に

3　妊娠・出産を「記録する」ということ　田間　泰子（大阪公立大学）
——1909 年～1960 年の 4 種の助産録分析から

総会（E1-104）16:50～17:50　**交流会（リリーノース N1 棟 1 階）18:10～19:10**

第２日目　９月７日（日）

受付時間	**9:15～**
午前の部	**10:00～12:40**

自由報告(3)

⑩結婚（E1-205）　　**司会　賽漢卓娜（長崎大学）**

⑩－1　現代中国における結婚選択に関連する要因
——リスク回避の視点に着目して　　王　靖懿（大阪大学・院）

⑩－2　中高年夫婦二度目の青春
——新たな夫婦関係「卒婚」を中心として　　張　娜（広島大学・院）

⑩－3　今日の結婚に求められているものは何か
——職業情報と結婚の関係からの接近　　○鈴木　貴士（国立社会保障・人口問題研究所／筑波大学・院）
甲斐　康輝（パリ第一大学・院）
岩澤　美帆（国立社会保障･人口問題研究所）
尾崎　幸謙（筑波大学）

⑩－4　内モンゴル東部農村地域におけるモンゴル人女性の結婚相手選択に関する考察
——2 人の未婚女性のライフストーリー分析を通じて　　烏　英嘎（中央大学）

⑪仕事（E1-206）　　**司会　村上　あかね（桃山学院大学）**

⑪－1　Unpacking the Source of Changesn in the Motherhood Wage Penalty Following First Birth in Japan　　麦山　亮太（学習院大学）

⑪－2　母親の就業形態が妻・子どもへの家計配分に及ぼす影響　　聶　逸君（日本女子大学・院）

⑪－3　非正規シングル女性の就労支援　　服部　良子（大阪市男女共同参画センター）

⑪－4　「専門職の女性の職業経歴とライフイベント　　深井　綾乃（お茶の水女子大学・院）

⑪－5　「母親業」の再構築
——中国における農村-都市出稼ぎ家族の祖母と母親の世代間育児交渉　　郭　馨冉（上智大学・院）

⑫カップル・性（E1-207）　　**司会　平森　大規（法政大学）**

⑫－1　性的マイノリティが形成する家族と／の国際移動
——子をもつ女性カップルの実践を事例に　　赤塚　叶実（神戸大学・院）

⑫－2　女性同性カップルの妊娠・出産・育児の実態と課題　　山田　夏子（立教大学・院）

⑫－3　20 世紀末 20 年間における大学生の同性・異性との性的行為の関連要因の変化　　小島　宏（早稲田大学 SOGI 調査研究所）

⑫－4　階層意識と親密な関係性の構築
——現代中国の青年層による生活実践における差異性の理解　　李　相君（新潟大学・院）

⑫－5　夫婦・カップルにおける性的な話題をめぐる葛藤
——カップル向けコミュニケーションカードの利用者への調査から　　岡田　玖美子（奈良女子大学）

テーマセッション(3)（E1-208）

家族を対象とした社会調査デザインの新たなアプローチ

オーガナイザー・司会　佐々木　尚之(津田塾大学)

討論者　保田　時男(関西大学)

1　家族研究におけるオンライン調査のゆくえ　佐々木　尚之（津田塾大学）

2　夫婦ダイアド・データからみる父親の家事・育児行動の諸相　斉藤　知洋(国立社会保障･人口問題研究所)

3　プライベートスペースから見る夫婦関係　毛塚　和宏（九州大学）

4　子育て世帯における性交渉の頻度と幸福度・関係満足度の関連　石橋　挙（社会データ構造化センター）

開催校企画テーマセッション（E1-209）

ジェンダー・セクシュアリティ・近代家族のいまと未来

――政治学者・人類学者・社会学者による批判的協働

オーガナイザー・司会　末盛　慶（日本福祉大学）

討論者　須長　史生（昭和医科大学）

1　ジェンダーとセクシュアリティの現在地　小山　泰代(国立社会保障･人口問題研究所)

――量的調査から見る変化と不変化

2　「家族」から排除される女性たち　桑島　薫（名城大学）

――「居場所」の人類学からの報告

3　新自由主義的資本主義経済と統治システムの転換と家族　武田　宏子（名古屋大学）

――家族の「廃止」を目指す政治運動は何を

実現しようとしているのか

昼食・委員会	**12:40～14:00**
午後の部	**14:00～16:30**

シンポジウム（E1-104）

家族の「多様化」を再考する――30 年の歩みと新時代の家族社会学の想像力

司会進行　平井　晶子（神戸大学）

本多　真隆（立教大学）

釜野　さおり（早稲田大学）

山根　真理（神戸大学）

討論者　落合　恵美子（京都産業大学）

筒井　淳也（立命館大学）

1　女性の就業、階層と家族形成　木本　喜美子（一橋大学名誉教授）

2　移民と家族　三浦　綾希子（中京大学）

3　性的マイノリティと家族　杉浦　郁子（立教大学）

連絡事項

大会参加申込

大会参加を希望される方は、期限までにご自分の区分（※）に沿った方法で申し込み・お支払いください。**事前申込期間は、7月1日（火）～8月25日（月）23時59分までです。**

区分	参加申込方法	参加費	お支払い方法
一般会員	事前Web申込	4,000円	事前クレジット決済
	当日申込	6,000円	会場で現金支払い
学生・減額・終身会員	事前Web申込	2,500円	事前クレジット決済
	当日申込	4,000円	会場で現金支払い
非会員一般	当日申込	6,000円	会場で現金支払い
非会員学生	当日申込	4,000円	会場で現金支払い

※「区分」は参加申込時のものです。

【会員（一般・学生・減額・終身会員）の方】

今大会では、事前申し込みと当日申し込みの二方式を設けますが、**円滑な大会運営のために「事前の参加申し込みと参加費納付（クレジット決済）」にご協力ください。**自由報告等の申し込みをされた方も参加申し込みが必要となります。

日本家族社会学会第35回大会ホームページからお申し込みください。
ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字8桁；上4桁は数字の0、下4桁は会員名簿に記載されている数字）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

クレジットカード決済方法について
Web上で参加申込される際に、決済用のクレジットカードの所有者名、カード番号、有効期限を入力してください。参加申込と参加費支払いが同時に完了されます。登録および決済が完了すると、「日本家族社会学会第35回大会「参加登録」受付通知」の件名で完了をお知らせする通知メールが自動配信されます。なお、カード明細には「国際文献事務センター」と表示されます。

※領収書は、当日会場で名札兼領収書の形式でお渡しします。
※事前の参加申し込みの期限を厳守してください。また、いかなる理由でも、参加費は払い戻しません。

減額会員の方
今年度の会費減額申請の受付は終了しています。減額会員の区分が適用されるのは現段階で承認を受けている方のみです。

【非会員の方】

非会員の方は当日参加申し込みとなります。参加費は当日現金でお支払いください。なお、公開シンポジウムのみ参加希望の非会員の参加費は無料です。

その他の注意事項

- 報告要旨集

  報告要旨集は**電子版の Web 要旨集のみ**となります。Web 要旨集は、8 月 27（水）に大会 HP 上で公開される予定です。大会当日の会場でのダウンロードはサーバーにつながりにくくなることが想定されるため、**できるだけ事前にダウンロードしてからご参加ください**。

- 交流会

  大会第 1 日目の総会終了後（9 月 6 日（土）18：10～19：10)、N1 棟 1 階学生食堂（リリーノース）にて開催します。軽食とともに、親睦を深める機会になればと考えていますので、ぜひご参加ください。参加費は有料（下記参照）で、事前申し込みが必要です。

  大会参加の事前 Web 申込時に交流会への参加について尋ねる項目がありますので、参加の有無を選択してください。

  なお、交流会の参加申し込みや参加費納入についての詳細は、7 月中に大会ホームページでお知らせします。

  交流会参加費：一般会員　2,100 円／学生・減額・終身会員　1,100 円（手数料 100 円を含む）

  ※参加費の徴収に Peatix を使用することになったため、参加費を手数料分（100 円）値上げさせていただきました。

- 交流スペース

  大会第 1 日目の昼休み（9 月 6 日（土）13:10～13:50)、E1 棟 3 階ラウンジに交流スペースを設けます。会員の皆さまの交流にお役立てください。参加費は無料、申し込み不要です。ささやかですが茶菓を用意します。

- 昼食

  両日とも、事前にお弁当購入の申し込みを受け付けます。お弁当購入の申し込みや代金納入については、７月中に大会ホームページでお知らせします。

  なお、大学内の生協などのショップは閉店しています。また、最寄りのコンビニは、「大森・金城学院駅前」から徒歩約 3 分（会場からは約 15 分）かかります。建物内には飲料の自動販売機のみとなりますのでご注意ください。お弁当は名鉄瀬戸線に乗車するまでにご用意いただくことをお勧めします。飲食可能な会員控室（休憩室）をご利用いただけます。

- 宿泊

  各自で手配をお願いします。名鉄瀬戸線栄町／地下鉄栄駅、JR 名古屋駅周辺にはホテルが多数あります。栄町駅は名鉄瀬戸線の発着駅になりますので、乗り換えなくお越しいただくことができ便利です（普通 20 分、急行・準急 15 分)。

研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告（口頭）の**報告時間は 20 分、質疑応答は 10 分**です。報告者と司会者は，セッション開始 15 分前に会場の前方に集合してください。報告者はご自身の報告開始時間のいかんにかかわらず、この時間に集合してください。配布資料がある方は会場係の学生にお渡しください。

- 大会当日の配布資料
  報告資料はオンライン上にアップしてください。詳細は別途お知らせします。**当日配布を希望する方は、各自で用意してください。**部数は、自由報告 50 部、テーマセッション 80 部を目安としてください。会場でのコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できませんので、ご了承ください。配布資料の残部は、「情報交換コーナー」（会員控室）で配布いたします。2 日目の 14 時までに引き取りがなければ、大会実行委員会にて廃棄します。

- 自由報告・テーマセッションの司会者の方へのお願い
  参加者の便宜のため、報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。

- PowerPoint 等の使用に関する注意事項
  ・報告会場となる教室に、ノート型パソコン（Windows, Microsoft Office）が備え付けてあります。
  ・PowerPoint の pptx もしくは ppt 形式、と PDF 形式で保存したデータを USB メモリに保存してお持ちください。
  ・**機器を使用する報告者**は、部会**開始 15 分前**に報告会場となる教室にお越しください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
  ・機器操作につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
  ・ご自分のパソコンを持ち込んで使用する場合、HDMI ケーブルと RGB ケーブルによる接続が可能です。変換アダプタ等は会場に備え付けられておりませんので、あらかじめご了承ください。
  ・レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。

大会期間中の学内無線 LAN の利用

- Eduroam が使用できます。Eduroam のアカウントをお持ちの方は、Eduroam をご利用ください。Eduroam をご利用になれない方には、学内専用の Wi-Fi サービス（無料）を提供します。当日、受付で利用方法をご案内します。

お子様連れの参加

- 会員のお子様（未就学児、小学生）とご一緒に参加することができます。受付の際にお子様連れであることをお申し出ください。託児サービス（有料、事前予約制）と親子室（無料、予約不要）を用意します。お子様と一緒に大会に参加する場合は、お子様から目を離さないようお気をつけください。会場内での事故やトラブル等について、主催者・開催校は責任を負いかねます。

- 親子室（無料）は、必ず親子で一緒にご利用ください。保育用の設備はありません（机と椅子のある演習室です）。

大会期間中の託児サービス

- 託児サービスの利用（有料、事前予約制）が可能です。詳細は7月中に大会ホームページでお知らせします。詳細をご確認のうえ、申し込みを行ってください。

その他

- 出版社による書籍展示・販売コーナーを設けます。
- 情報交換コーナー（会員控室）を設けます。なお、抜き刷り冊子等の配布資料の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局宛にメールにてお問い合わせください。
  大会実行員会事務局　　E-mail：jsfs-taikai☆bunken.co.jp（☆を@に変えてください）

会場案内

金城学院大学　E 棟 1 階・2 階・3 階、N1 棟 1 階

E 棟 1 階：受付、総会、シンポジウム、会員控室、クローク等

E 棟 2 階：自由報告、テーマセッション、書籍展示・販売等

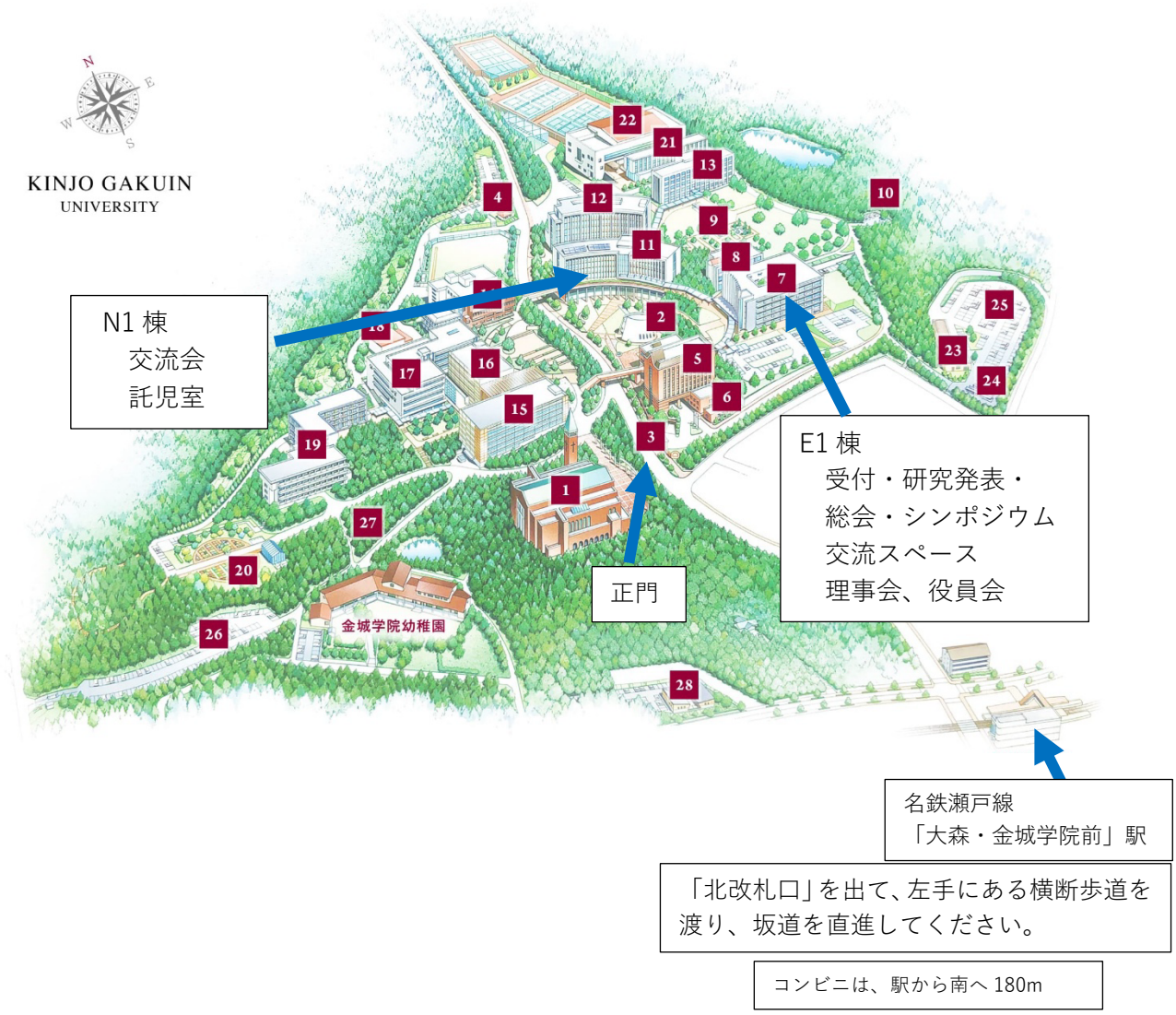
E 棟 3 階：交流スペース等

N1 棟 1 階：交流会

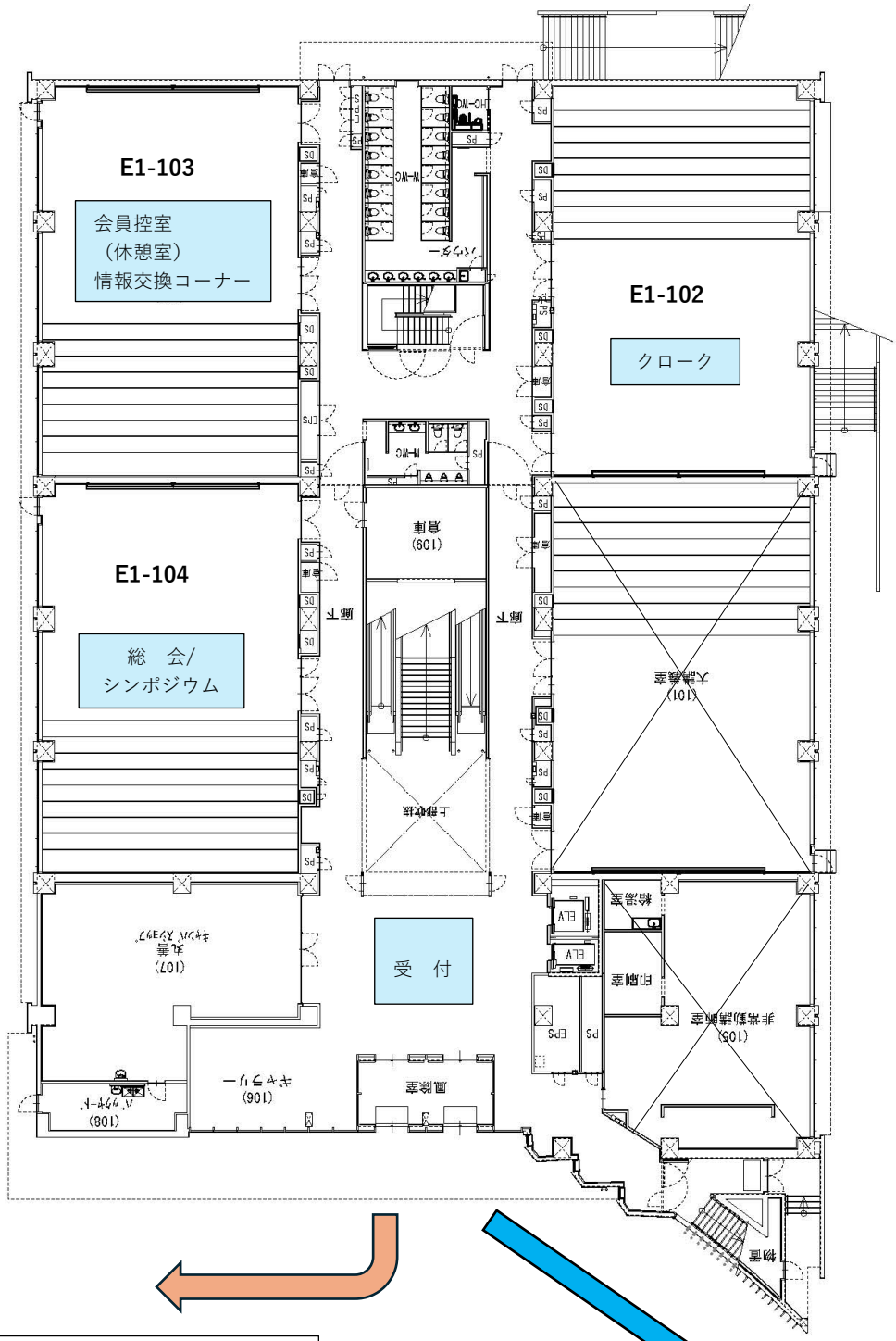
名鉄瀬戸線「大森・金城学院前」駅（徒歩約 5 分）

＊「北改札口」を出て、左手にある横断歩道を渡り、坂道を直進してください。

金城学院大学　　キャンパス案内図



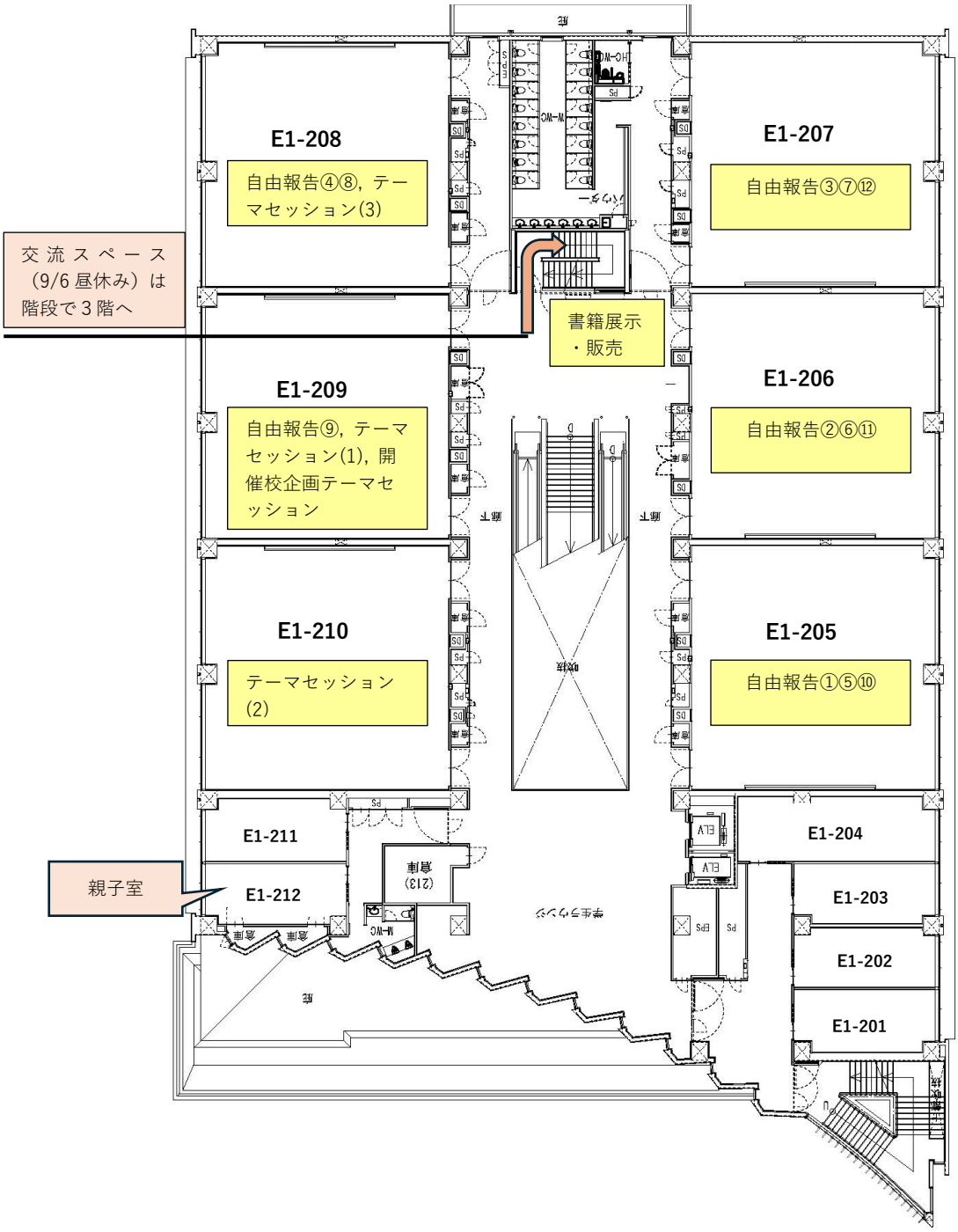
会場　E1 棟 1 階



外へ出て右折して
交流会（学生食堂：リリーノース）は N1 棟 1F へ
託児サービスは N2 棟 310 へ

名鉄瀬戸線
「大森・金城学院前」駅へ

会場　E1 棟 2 階



【大会実行委員】

実行委員長：宮坂靖子（金城学院大学）

実行委員　：青木加奈子（大阪大学）、磯部香（高知大学）、上野顕子（金城学院大学）、大山小夜（金城学院大学・非会員）、笹岡克比人（名城大学）、末盛慶（日本福祉大学）、福田峰子（金城学院大学・非会員）

祝 日本家族社会学会 第35回大会

SDGsという世界が目指す目標のもとで，環境教育・ESDに役立つコンテンツをお届けします！

わたしたちが創る未来

EduTown SDGs

今の子どもたちが大人になる2030年は，どんな未来が待っているのでしょうか。
『EduTown SDGs（エスディージーズ）―わたしたちが創る未来―』は，SDGsの観点から持続可能な社会の実現に向け，子どもたちと一緒に考えるコンテンツを提供しています。

すべて無料でお使いいただけます！

https://sdgs.edutown.jp

全国1万の学校で180万人が利用する キャリア教育・職業調べサイト

EduTown あしたね

アクセスはこちら
https://ashitane.edutown.jp

すべて利用無料

「EduTownあしたね」は全国の小・中・高校の授業で利用されている国内最大級のキャリア教育・職業調べの学習サイトです。
400職種、600人以上の豊富なインタビュー記事を掲載しています。
記事にはルビを振り、小学校高学年から読めるわかりやすい内容にしてあります。

教授資料のご要望、各商品のご案内や研修会のご要望などがございましたら、ご連絡ください。

東京書籍
本　社／〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7490 Fax:03-5390-6012（営業総轄本部）
中部支社／〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-14-11 DPスクエア東桜8階 Tel:052-950-2260 Fax:052-950-2261
https://www.tokyo-shoseki.co.jp 教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp

男性育休の社会学

中里英樹 著　四六判＊3300円

男性育休取得率向上の先に、われわれは何を目指すべきなのか？ 日本、ドイツ、北欧での調査をふまえ、育児をめぐる文化や言説、制度の内容、改正のプロセス、実践について分析し、構造転換に向けて方策を提示する。

コミュニティ・デザイン新論

新川達郎 監修／川中大輔・山口洋典・弘本由香里 編　四六判＊3300円

政策科学、社会学、減災・人間科学、建築・都市計画学、事業構想学など、バックグラウンドの異なる気鋭の執筆陣が集い、旧来のコミュニティ・デザイン論を捉え直し、アクティブな知として新たに鍛え直すことを目指す。

ケアするラジオ
――寄り添うメディア・コミュニケーション

金山智子 編　四六判＊2860円

音声によって、人を癒し、励まし、支え、寄り添う。ラジオという親密なメディアについて、ケアの概念のもとに考察し、離島、刑務所、病院、被災地における実践など、多様な事例を紹介。メディア研究に新たな地平を切り開く。

フツーの生活プロジェクト
――クィアでないクィア生活

ミツヨ・ワダ・マルシアーノ／國永孟 作　早川宏美 画　A5判＊1320円

「フツーの生活」とは何か。「フツーの人」とは誰か。「フツー」というふわふわした事象について、立ち止まって考える。自己の存在を肯定しつつ、周囲の人々と共に在ることを願い共生する様をコミックを通して言祝ぐ。

子どもを信じること

田中茂樹 著　岡田千晶 画　四六判＊3080円

不登校、引きこもり、摂食障害、等々…。子育てをめぐる様々な悩みや苦しみはなぜ生じるのか。その仕組みを心理学の概念で解き明かし、多数の事例を紹介しながら子どもとのコミュニケーションの望ましいあり方について具体的な方法を提案する。

さいはて社

〒525-0067 滋賀県草津市新浜町 8-13
https://saihatesha.com
info@saihatesha.com

※価格は税込みです。

ピアノと暮らす
――日本におけるクラシック音楽文化の受容と展開――

本間 千尋 著　◆324頁・4180円

ヤマハ音楽教室やピティナ・ピアノコンペティションが日本のピアノ文化に及ぼした影響とは

日本社会の変容とヤングケアラーの生成
――地域の実態調査から支援の方向性を考える――

宮本 恭子 著　◆176頁・5830円

ヤングケアラーという「時代のカナリア」が示す日本の「本当の病」とは

「孤独・孤立」の歴史社会学

梅田 直美 著　◆292頁・3850円

孤独・孤立をめぐる歴史を紐解き、言説活動を社会変革につなげるために

障害者の倫理
――フーコーからパラリンピックまで――

北島 加奈子 著　◆182頁・2860円

静かな怒り、確かな意志。生の障害、障害の生、そして、ほんとうの生。障害の社会モデル、そして、パレーシアを、論じて生きる。

介護職へのワーク・ライフ・バランス支援
――組織風土とマネジメントから考える――

大竹 恵子 著　◆192頁・3850円

ワーク・ライフ・バランスを高める〝組織風土〟とは？

日本における既婚女性のパートタイム労働
――変わる働き方、変わらない女性の役割――

田中 裕美子 著　◆202頁・3850円

パートタイム労働の歴史・政策・現状を制度的・計量的に明らかにする。

労働環境の不協和音を生きる
――労働と生活のジェンダー分析――

堀川 祐里 編著　◆250頁・2750円

〈生きるために働く〉ことを歴史縦断的・領域横断的なアプローチでジェンダー視点から理解し再構築する。

環境と差別の社会学
――フィールドとの〈対話〉から構造的差別へ――

三浦 耕吉郎 著　◆264頁・4180円

フィールドとの〈対話〉から生みだされる理論的なブレイクスルー

晃洋書房

〒615-0026
京都市右京区西院北矢掛町7番地

TEL 075-312-0788
FAX 075-312-7447

※価格は税込

今、学校の先生たちに知ってもらいたい、知るべき学校のジェンダー問題を、
学校文化・セクハラ・性教育等 10の視点から解説！

本書の詳細はこちら

現代の学校教育で必須のジェンダー知識がこれ一冊で学べます！

学校とジェンダー
「ふつう」って何？

編著者
山根真理 愛知教育大学創造科学系 家政教育講座特別教授
高橋靖子 愛知教育大学心理講座教授

●A5判・200ページ ●定価2,420円（本体2,200円+税）
●ISBN 978-4-7619-3059-2

学校内外に潜むジェンダー問題。
知ることから始めてみませんか。

- ☑ 教育学や社会学など、多様なバックグラウンドを持った著者による、これまでに類を見ない「学校とジェンダー」を考える本格的な入門書！
- ☑ 最新のトピックやNPOからの声も集めたコラムも充実！
- ☑ 学校関係者、保育園・幼稚園の先生、保護者、教育行政関係者等、幅広く活用できます！

詳しくは、「学事出版」ホームページをご覧ください。ご注文もできます。https://www.gakuji.co.jp

学事出版 千代田区神田神保町1-2-5 和栗ハトヤビル3F
TEL 03-3518-9016
FAX 0120-655-514

発達障害児の母親ケアラーの生活の苦しみと編み直し

山下亜紀子 著 ●216頁 定価3080円

障害児の母親たちが社会生活においてどのような苦しみ、困難を抱えているのか。社会的に孤立しやすい障害児の母親の生活問題について考え、生活困難を乗り越えるあり方について提言。

21世紀の家族づくり 第2版

増子勝義 編著 ●264頁 定価2970円

ニュートラルな視点から家族をとらえなおし、あたらしい時代の「家族」について考える。専門的視点から、家族の新しいとらえ方を提示し、21世紀の家族をめぐる諸現象について解説。

社会学の各分野に対応する入門テキスト

「入門・社会学」シリーズ ―現代的課題との関わりで

③入門・家族社会学

山下亜紀子・吉武理大 編著 ●208頁 定価2420円

現代の家族を理解することに主眼をおいた家族社会学の新しいテキスト。現代に生きる私たちは、どのような家族のなかで生活しているのか、生活していく中でどのような問題を抱えているのか。

①入門・社会学 山本努・吉武由彩 編著
②入門・地域社会学 山本努 編著
④入門・福祉社会学 吉武由彩 編著
⑤入門・環境社会学 牧野厚史・藤村美穂・川田美紀 編著

日本社会分析学会 監修
シリーズ生活構造の社会学 ●268頁 定価2860円

① 生活からみる社会のすがた

稲月正・加来和典・牧野厚史・三隅一人 編著

② 社会の変容と暮らしの再生

室井研二・山下亜紀子 編著 ●298頁 定価3300円

生活に着眼した社会分析を目指すアプローチによる社会学シリーズ。1巻は入門編・2巻は研究編。生活構造論・社会学概念の可能性を示す。

新・現代農山村の社会分析

高野和良 編著 ●204頁 定価2530円

現代農山村での生活の実態とこれからを考える。西日本農山村の変化の諸相を分析。

[続] 少子化論 出生率回復と<自由な社会>

松田茂樹 著 ●300頁 定価3080円

日本のこれからの少子化対策のあり方、および個々具体的な政策を提言する。

オトナ親子の同居・近居・援助 夫婦の個人化と性別分業の間

大和礼子 著 ●224頁 定価2090円

新しい世代間関係のあり様を社会学理論と調査分析から探る。

ジョナサン・H・ターナー 著

社会学の理論原理

vol.1 ●432頁 定価6600円 マクロ・ダイナミクス 正岡寛司・山田真茂留・畑山要介 訳
vol.2 ●450頁 定価7480円 ミクロ・ダイナミクス 正岡寛司 訳

人類の歴史を見渡し、社会なるものの進化の過程を理論的に探究し続けてきたターナーの研究をまとめた社会学原論の集大成。

〒153-0064 東京都目黒区下目黒３－６－１
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

数土直紀・山田真茂留 編著　天田城介・山根純佳 著

アカデミックナビ　社会学

2025年4月刊行

社会について考える。――最良の知的ツール！

社会学の基礎的な方法論と、「関係」「集団」「不平等」「権力」といった基本概念から、「家族」「ジェンダー」「老い」「多様性」までの近年注目を集めるトピックを網羅。
読むほどに社会と社会学にたいする理解が深まる、
社会学テキスト、誕生！

A5 判 388 頁　定価 3300 円

- ◉ わかりやすく
- ◉ バランスよく
- ◉ ポイントをしぼって
- ◉ 体系的に
- ◉ 各章末に「要点の確認」と「文献ガイド」、巻末に 130 の最重要「用語解説」を収録
- ◉ シリーズ好評既刊
  子安増生編著『心理学』
  大瀧雅之『経済学』
  田村哲樹・近藤康史・堀江孝司『政治学』
  多湖淳『国際関係論』

ケアする私の「しんどい」は、どこからくるのか

――見えないケア責任を語る言葉を紡ぐために

2025年6月刊行

山根純佳・平山 亮 著

育児や介護をめぐる「常識」が作り出す困難の核心に迫る。

四六判 288 頁　定価 2530 円

「小一の壁」を検証する

2025年2月刊行

――就学の社会学

酒井 朗 編著

「小一の壁」社会問題化の背景を解明し、家庭支援の方策を探る。

A5 判 248 頁　定価 2970 円

リフレクシブ・ライブズ

2025年6月刊行

――青少年研究会調査にみる「曲がり角」の時代の若者たち

辻 泉・浅野智彦 編著

「再帰性を磨け！」青少年研究会調査データでよみとく若者文化。

A5 判 314 頁　定価 4400 円

日本家族社会学会 第 35 回大会　特別販売のご案内

下記サイトからお申し込みください。
全品約 15%割引
送料無料で販売いたします。

購入申込みサイト
https://forms.gle/KNWeUWRks2dWT4ze6

＊表示価格は税込

勁草書房（けいそう）
https://www.keisoshobo.co.jp
〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1　TEL 03-3814-6861　FAX 03-3814-6854